

〈保護者・教員向け資料〉

安心して任せられる学校

進学の手引き

進学資金

本校の学費について

日本学生支援機構奨学金制度…等

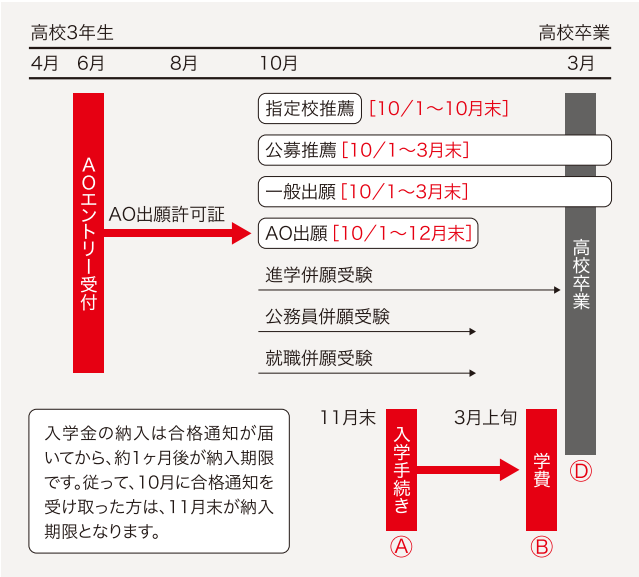
国の教育ローン

本校での学びが安心の理由

本校独自の学費支援制度

本校の学費について

納入手続のタイミング



入学にかかる費用

- (A) 入学金 100,000円
 - 本校の場合:合格から約1ヶ月後(10月合格者は11月末)が納入期限です。
- (B)(C) 学費 78.4万円~106.6万円/年×在学年数
 - 本校の場合:前期(B)・後期に分けてご入金いただきます。前期分(B)の納入期限は3月上旬です。
 - 4年制学科:専門学校の学費以外に北海道情報大学通信教育部に317,000円~417,000円/年の納入が必要です。
- (D) 学費以外の経費
 - 教科書代、教材費等 約40,000円/年(3月末納入期限)
 - 国家試験等、外部主催の資格受験 約30,000円/年

★期限までに納入金を準備できない場合

期限までに納入金が準備できない場合は、遠慮なくご相談ください。
お申出により、入学金:延納(入学前に全納必要)、学費:延納・分納が可能です。

☎ 0120-75-7581

4年制 大学併修学科 (北海道情報専門学校と北海道情報大学の2校に納入します)

北海道情報専門学校 納入分					
	入学金	学費納入期限	授業料	施設設備費	学費合計
1 年 次	100,000 (A)	前期(3月)	219,000	173,000	392,000 (B)
		後期(10月5日)	219,000	173,000	392,000
		合 計	438,000	346,000	784,000 (C)
2年次以降 (3年次、4年次も同額)	—	前期(4月5日)	219,000	173,000	392,000
		後期(10月5日)	219,000	173,000	392,000
		合 計	438,000	346,000	784,000

※北海道情報専門学校分の教科書・教材費等として、年間30,000円程度必要となります。(2025年4月入学生実績) (D)

北海道情報大学 通信教育部 納入分								
	入学金	学費納入時期	施設設備費	授業料	施設利用料	レポート添削料	科目試験料	学費合計
1 年 次	50,000	前期※	50,000	100,000	50,000	11,000	6,000	217,000
		後期(9月)	—	100,000	50,000	—	—	150,000
		合 計	50,000	200,000	100,000	11,000	6,000	367,000
2年次以降 (3年次、4年次も同額)	—	前期(3月)	—	100,000	50,000	11,000	6,000	167,000
		後期(9月)	—	100,000	50,000	—	—	150,000
		合 計	—	200,000	100,000	11,000	6,000	317,000

※出願時期により、入学金および1年次前期分学費の納入時期が異なります。 ※北海道情報大学分教科書・教材費として年間40,000円程度必要となります。(2025年4月入学生実績)
※北海道情報大学のスクーリング受講料として、4年間で100,000円程度必要となります。(10,000円/2単位) ※北海道情報大学の教職課程を希望する者は、175,000円が別途必要となります。
【注意】給付型奨学金対象者が大学併修学科[4年制]に入学した場合Wスクール制のため、北海道情報大学分の入学金・授業料は国の修学支援制度の対象外です。

3年制 情報総合学科

2年制 情報システム学科

	入学金	学費納入期限	授業料	施設設備費	学費合計
1 年 次	100,000 (A)	前期(3月)	360,000	173,000	533,000 (B)
		後期(10月5日)	360,000	173,000	533,000
		合 計	720,000	346,000	1,066,000 (C)
2 年 次 (3年制は3年次も同額)	—	前期(4月5日)	360,000	173,000	533,000
		後期(10月5日)	360,000	173,000	533,000
		合 計	720,000	346,000	1,066,000

※教科書・教材費等として、年間40,000円程度必要となります。(2025年4月入学生実績) (D)

進学資金に 困ったら



- 子供が利用し返済する／給付される
日本学生支援機構奨学金
- 保護者が借りて保護者が返済する
教育ローン
- 本校独自の
学費支援制度

住民税非課税世帯：給付型奨学金[第Ⅰ区分]
予約申込完了の場合

ケース1 本人の力だけで学費支払い

入学前



入学金免除

(※国の修学支援制度対象)



入学前の学費の支払い

学校に「分割納入」を申請し、学費の一部を
納入する

※残金は、入学後に給付型奨学金を利用し支払う

入学後



授業料免除

(※国の修学支援制度対象)

授業料以外の学費

(給付型奨学金で支払う)

卒業後

返済金無し

教育ローンと貸与型奨学金を利用する場合

ケース2 保護者と本人で支払い

入学前：保護者負担



教育ローンを利用し 入学金を保護者が支払う



入学前の学費の支払い

学校に「分割納入」を申請し、学費の一部を
納入する

※残金は、入学後に貸与型奨学金を利用し支払う

入学後：子供の力で自力進学



学費の支払い

(本人が貸与型奨学金で支払う)



保護者：教育ローンの返済開始

卒業後



本人：貸与型奨学金の返済開始

返済額10,000円～20,000円／月程度

日本学生支援機構奨学金を利用せず
教育ローンを利用する場合

ケース3 保護者が全額負担

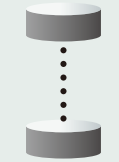
入学前・入学後



教育ローンを利用し 「入学金・学費」を

全額保護者が支払う

入学後



元金据置返済

※在学中は利息のみ支払う

卒業後



卒業後返済開始[保護者]

※返済額は返済期間による

北海道・東北の大学と、道内専門学校の初年度納入金の目安

国立大学

817,800円(標準額)

※入学金282,000円+授業料535,800円

※2024年北海道・東北の大学・短大データ／栄美通信調べ

公立大学

平均 700,000円～1,200,000円

※2024年北海道・東北の大学・短大データ／栄美通信調べ

私立大学

文・教育 1,100,000円～1,400,000円

社会福祉 1,000,000円～1,400,000円

法・商・経 1,100,000円～1,400,000円

理・工・情報 1,200,000円～1,700,000円

薬 1,800,000円～2,200,000円

農・獣医 1,400,000円～2,500,000円

医・歯 4,000,000円～9,000,000円

家政・栄養 1,300,000円～1,500,000円

芸術 1,400,000円～2,000,000円

体育 1,100,000円～1,400,000円

看護・保健 1,500,000円～2,200,000円

※2024年北海道・東北の大学・短大データ／栄美通信調べ

道内専門学校の学費の平均(2024年4月入学生分)

学校分野	授業料	入学金	施設設備費	合計
工業分野	581,273円	153,939円	248,774円	983,986円
農業分野	200,000円	100,000円	250,000円	550,000円
医療分野	852,727円	201,515円	136,667円	1,190,909円
衛生分野(調理)	595,000円	109,167円	134,444円	838,611円
衛生分野(理容美容)	688,000円	104,000円	154,167円	946,167円
教育社会福祉分野	658,636円	136,364円	164,211円	959,211円
商業実務分野	634,813円	120,000円	169,733円	924,546円
服飾家政分野	625,000円	130,000円	93,333円	848,333円
文化教養分野	717,333円	113,333円	176,154円	1,006,820円

※上記金額の他に実習費・教材費・検定料・学生会費などの諸経費(およそ20,000円～600,000円)が必要となります。
(一部の学校は授業料に含む場合もあります。)

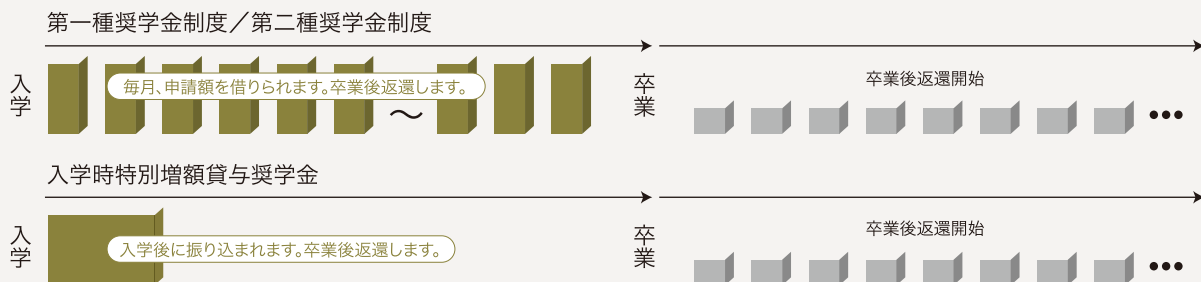
※北海道私立専修学校各種学校連合会HPより引用

日本学生支援機構奨学金制度 [JASSO]

重要 > 利用・返済対象は **お子さまご本人です!!**

奨学金の種類

■ **借りる奨学金 [貸与型]** : 卒業後に**返還**する奨学金です。



【貸与型】 第一種奨学金：20,000円～60,000円(自宅通学の場合は53,000円)／月(返還時の利息はありません)

第二種奨学金：20,000円～120,000円／月 利率(固定1.641%、利率見直し1.100% ※2025年3月現在)

入学時特別増額貸与奨学金：10万円・20万円・30万円・40万円・50万円／入学時

※第一種及び第二種について「月額貸与額」は在学中に手続によって変更できます。

※給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、給付奨学金の支援区分等に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整されます。(多くの場合は減額となり、0円となる場合もあります)

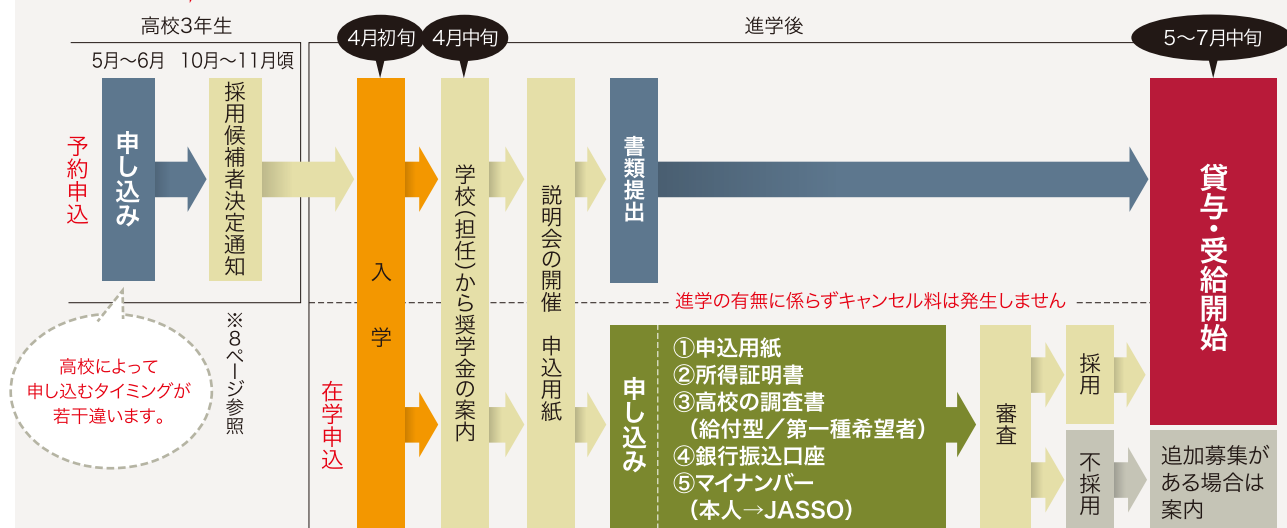
■ **もらう奨学金 [給付型]** : 卒業後に**返還の必要はありません**。



【重要】 給付型奨学金対象者は、毎月の給付奨学金に加え、国から『高等教育の修学支援』を受けられます。

奨学金の申込

ココに注目! 予約申込の時期は「**高校3年生の春(5月頃)**」



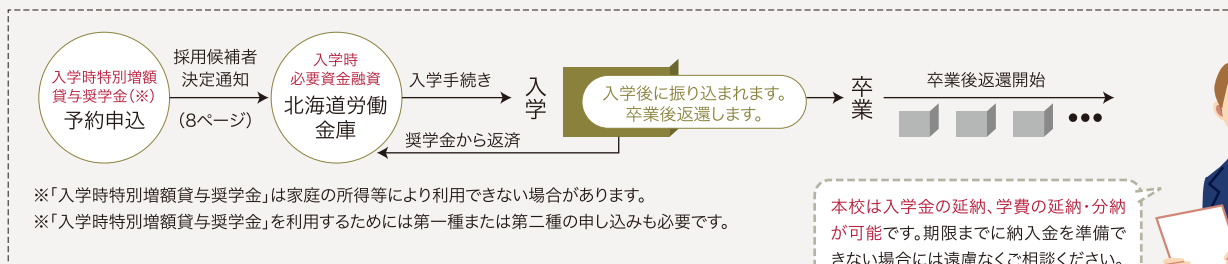
●入学後、春と秋に「在学申込」が可能です。

❗ 貸与・受給開始は入学後5月～7月になります。入学前の学納金に日本学生支援機構の奨学金は利用できません。

貸与型奨学金について

貸与型奨学金の活用例 [入学前]

日本学生支援機構奨学金は、入学後の手続きによって利用できます。従って、入学前に納入期限を迎える「入学金」や「学費の納入」に当奨学金を利用することができません。そこで、**入学前の納入金に不安がある場合には「入学時特別増額貸与奨学金」を第一種や第二種と合わせて、予約申込**して下さい。当奨学金が「採用候補者決定通知(8ページ)」で利用できると確認できた場合には、当奨学金を担保に北海道労働金庫の「**入学時必要資金融資**」を利用し、**入学前の納入金を納めることが可能**になります。



■その他、入学前に貸与可能な奨学金制度(貸与型)

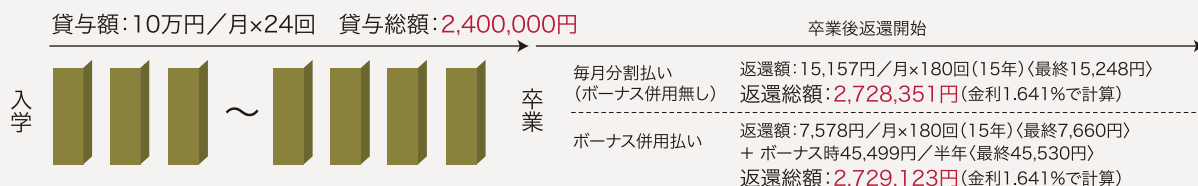
生活福祉資金貸付制度(都道府県社会福祉協議会)	母子父子寡婦福祉資金貸付制度(都道府県等)
〈教育支援資金〉 ●低所得者世帯を対象 ●無利子:20年以内に返済(貸付額により目安あり) ●就学支度費:50万円以内 ●教育支援費:月額60,000円以内 問い合わせ先: お住まいの市町村の社会福祉協議会	〈就学支度資金・修学金〉 ●母子・父子家庭等を対象 ●無利子:20年以内に返済 ●入学前に必要な経費:59万円以内 ●月額89,000円以内 問い合わせ先: お住まいの都道府県・指定都市・中核市の福祉担当課

奨学金の種類

減免型…納入金を**減額**
 免除型…納入金を**免除**
 給付型…奨学金を**給付**
 ※返済不要
 貸与型…**卒業後**に返済

保護者様がお住まいの市町村の奨学金制度があります。詳しくはお住まいの市町村にご確認ください。

貸与型奨学金の活用例 [入学後]



情報システム学科[2年制]の納入金総額:2,232,000円[入学金100,000円、2年間の学費1,066,000円×2年]

月額100,000円を借ると十分に学費を支払う事が可能になります。返還期間は日本学生支援機構で指定されますが、**月額15,200円くらいの返済**になります。また、半年ごとのボーナスを利用すると月額約7,600円、ボーナス時に約45,500円の返還額となります。本校では、学生の多くがアルバイトをしており、毎月60,000円程度の収入を得ています。計画的な返還計画の中で、**貸与型奨学金やアルバイトの組合せで進学が可能**です。

ココがポイント

ICT業界やゲーム業界の年収は、高校卒業後すぐに就職するよりも専門学校を卒業することで就職後2〜3年目の年収が**平均的に+70万円〜100万円多**くなります。従って、本校卒業後に数年程度働く事で、学費分の支出は充分に取り戻せます。また、**高校生では就けないような業界・企業や職種**が卒業後に待っています。

高等教育の修学支援新制度[授業料等減免と給付型奨]

注目!

2025年度(令和7年度)より支援対象が拡大しました!

[対象]住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生等

授業料・入学金の **免除／減額**



給付型奨学金の **給付**

●要件を満たす人全員が支援を受けられます。高等学校や大学等ごとの人数制限(推薦枠)はありません。



世帯収入や資産の要件を満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯



進学先で学ぶ意欲がある学生等であること

成績だけで判断せず、レポート等で学ぶ意欲を確認

修学支援新制度対象校

ご希望の進学先が、修学支援新制度の対象となっているか確認できます。



支援対象者の要件と各種上限額(個人要件)等<所得に関する要件と目安年収>

所得基準に相当する目安年収(例)		住民税非課税	準ずる世帯			
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分 (多子世帯・理工農系)	
ひとり親世帯 (母のみが生計維持者の場合)	子1人 (本人)	～約210万円	～約300万円	～約370万円	～約630万円	
	子2人 (本人・高校生)	～約270万円	～約360万円	～約430万円	～約680万円	
	子3人 (本人・高校生・中学生)	～約270万円	～約360万円	～約430万円	～約680万円	
	子3人 (本人・大学生・高校生)	～約350万円	～約450万円	～約510万円	～約700万円	
ふたり親世帯 (両親が生計維持者) (注) 片働き(一方が無収入)の場合で、配偶者控除が適用される場合	子1人 (本人)	～約220万円	～約300万円	～約380万円	～約640万円	
	子2人 (本人・高校生)	～約270万円	～約300万円	～約380万円	～約640万円	
	子3人 (本人・高校生・中学生)	～約320万円	～約370万円	～約430万円	～約680万円	
	子3人 (本人・大学生・高校生)	～約360万円	～約450万円	～約520万円	～約740万円	

■給付型奨学金の支給月額
(住民税非課税世帯(第Ⅰ区分上限額)の場合)

区分	自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・ 専門学校(専門課程)	国立 29,200円(33,300円※) 私立 38,300円(42,500円※)	66,700円 75,800円

※生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません)で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等

■授業料等の免除・減額(年額)
(住民税非課税世帯(第Ⅰ区分上限額)の場合)

区分	国立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
専門学校(専門課程)	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

① 2年次以降から支援を受ける方は「入学金」の免除・減額は受けられません。

■理工農系支援上限額

私立	授業料減免額(年額)	入学金免除額
大学	233,400円	86,700円
短期大学	155,000円	62,500円
専門学校	147,500円	40,000円

※国公立大学は対象外です。

本校 情報システム学科(2年制)の修学支援対象

	入学金	学費納入期限	授業料	施設設備費	学費合計
1年次	100,000	前期(3月)	360,000	173,000	533,000
		後期(10月5日)	360,000	173,000	533,000
		合計	720,000	346,000	1,066,000
2年次	—	前期(4月5日)	360,000	173,000	533,000
		後期(10月5日)	360,000	173,000	533,000
		合計	720,000	346,000	1,066,000

修学支援対象
[免除/減額対象]

修学支援対象
[免除/減額対象]

修学支援対象外
[給付型奨学金を
ご利用下さい]

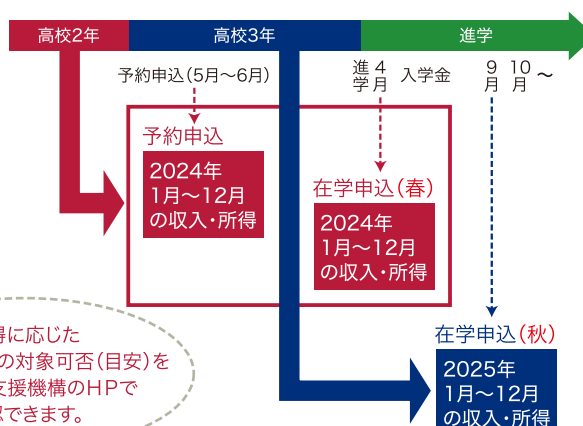
進学資金シミュレーター

支援の対象になるか調べることができます



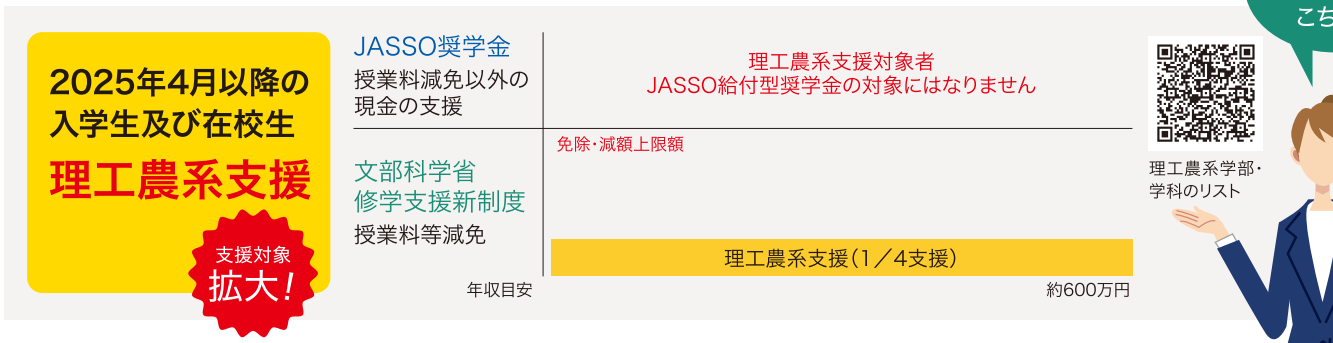
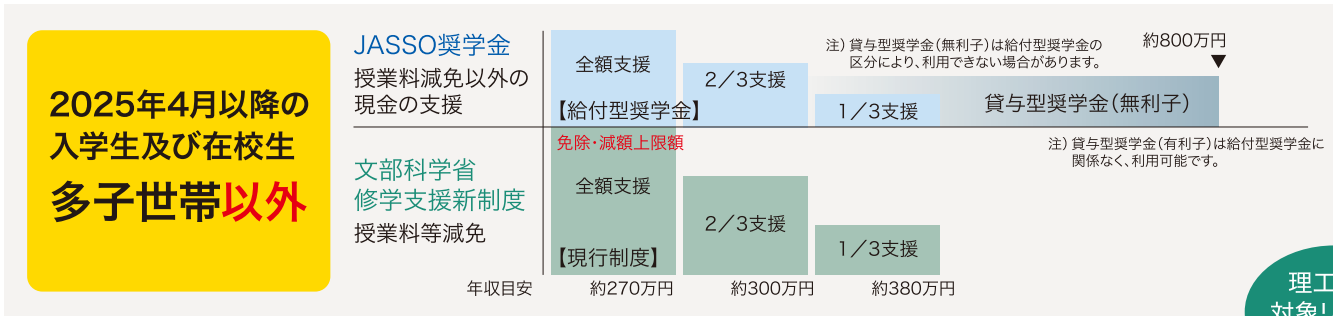
所得に応じた
給付型奨学金の対象可否(目安)を
日本学生支援機構のHPで
確認できます。

いつの収入/所得の申請が必要?



学部段階(大学・短大・高専・専門学校)向け
授業料減免等の中間層への拡大

授業料等減免と給付型奨学金をセットで行う「高等教育の修学支援新制度」について、子育て支援等の観点から、多子世帯の中間層に支援対象を拡大。
あわせて理工農系の中間層にも拡大。



理工農系学部・
学科のリスト

理工農系
対象リストは
こちら！



例) 本校 情報システム学科 [2年制] の場合 入学金:100,000円 授業料:720,000円 施設設備費:346,000円 合計:1,166,000円(初年度)

A 国の修学支援(入学金・授業料の免除/減額)による学費納入額

区分	年次	免除／減免	国の修学支援			学費／年	
		納入額	入学金	授業料	その他の学費		
第Ⅰ区分	初年度	免除／減免	100,000円	590,000円	減免なし	免除／減免	690,000円
		納入額	0円	130,000円	346,000円	納入額	476,000円
	2年次	免除／減免	——	590,000円	減免なし	免除／減免	590,000円
		納入額	——	130,000円	346,000円	納入額	476,000円
第Ⅱ区分	初年度	免除／減免	66,700円	393,400円	減免なし	免除／減免	460,100円
		納入額	33,300円	326,600円	346,000円	納入額	705,900円
	2年次	免除／減免	——	393,400円	減免なし	免除／減免	393,400円
		納入額	——	326,600円	346,000円	納入額	672,600円
第Ⅲ区分	初年度	免除／減免	33,400円	196,700円	減免なし	免除／減免	230,100円
		納入額	66,600円	523,300円	346,000円	納入額	935,900円
	2年次	免除／減免	——	196,700円	減免なし	免除／減免	196,700円
		納入額	——	523,300円	346,000円	納入額	869,300円
第Ⅳ区分 (理工農系)	初年度	免除／減免	25,000円	147,500円	減免なし	免除／減免	172,500円
		納入額	75,000円	572,500円	346,000円	納入額	993,500円
	2年次	免除／減免	——	147,500円	減免なし	免除／減免	147,500円
		納入額	——	572,500円	346,000円	納入額	918,500円

B 日本学生支援機構からの給付額

区分	年次	給付奨学金	
		自宅	自宅外
第Ⅰ区分	初年度	38,300円/月	75,800円/月
		計 459,600円	計 909,600円
	2年次	38,300円/月	75,800円/月
		計 459,600円	計 909,600円
第Ⅱ区分	初年度	25,600円/月	50,600円/月
		計 307,200円	計 607,200円
	2年次	25,600円/月	50,600円/月
		計 307,200円	計 607,200円
第Ⅲ区分	初年度	12,800円/月	25,300円/月
		計 153,600円	計 303,600円
	2年次	12,800円/月	25,300円/月
		計 153,600円	計 303,600円

A + B = 実質学費負担額

区分	年次	学費負担額	
		自宅	自宅外
第Ⅰ区分	初年度	16,400円	残:433,600円
	2年次	16,400円	残:433,600円
第Ⅱ区分	初年度	398,700円	98,700円
	2年次	365,400円	65,400円
第Ⅲ区分	初年度	782,300円	632,300円
	2年次	715,700円	565,700円
第Ⅳ区分 (理工農系)	初年度	993,500円	
	2年次	918,500円	

注) Aの「第Ⅳ区分(理工農系)」を受けるためには、Bの日本学生支援機構への申し込みが必要です。

〈日本学生支援機構奨学金制度〔JASSO〕〉
高等教育の修学支援新制度〔授業料等減免と給付型奨学金〕

2025年4月以降の入学生及び在校生
多子世帯

支援対象拡大!

JASSO奨学金

授業料減免以外の現金の支援

文部科学省
修学支援新制度
授業料等減免

全額支援

2/3支援

【給付型奨学金】

1/3支援

1/4(多子)

貸与型奨学金
(無利子)

約800万円

注) 貸与型奨学金(無利子)は給付型奨学金の区分により、利用できない場合があります。

注) 貸与型奨学金(有利子)は給付型奨学金に関係なく、利用可能です。

免除・減額上限額

多子世帯: 所得制限なく上限額支援

年収目安

約270万円

約300万円

約380万円

約600万円

所得制限なし

【重要】多子世帯であれば、JASSO給付型対象外でも「文部科学省修学支援新制度(免除・減額)」の対象です

多子世帯とは、生活維持者が扶養する子が3人以上の場合を指します。従って、多子世帯として入学したものの、途中で扶養する子が2人以下になった場合には、多子世帯対象外になります。

多子世帯のイメージ
(子供3人)

第1子(大学生等)

第2子(高校生以下等)

OR

第2子(大学生等)

第3子(高校生以下等)

例) 本校 情報システム学科〔2年制〕の場合 入学金:100,000円 授業料:720,000円 施設設備費:346,000円 合計:1,166,000円(初年度)

A 国の修学支援(入学金・授業料の免除／減額)による学費納入額

区分	年次	免除／減免	国の修学支援			学費／年	
		納入額	入学金	授業料	その他の学費		
多子世帯	初年度	免除／減免	100,000円	590,000円	減免なし	免除／減免	690,000円
		納入額	0円	130,000円	346,000円	納入額	476,000円
	2年次	免除／減免	—	590,000円	減免なし	免除／減免	590,000円
		納入額	—	130,000円	346,000円	納入額	476,000円

B 日本学生支援機構からの給付額

区分	年次	給付奨学金	
		自宅	自宅外
第Ⅰ区分 (多子世帯)	初年度	38,300円／月 計 459,600円	75,800円／月 計 909,600円
	2年次	38,300円／月 計 459,600円	75,800円／月 計 909,600円
第Ⅱ区分 (多子世帯)	初年度	25,600円／月 計 307,200円	50,600円／月 計 607,200円
	2年次	25,600円／月 計 307,200円	50,600円／月 計 607,200円
第Ⅲ区分 (多子世帯)	初年度	12,800円／月 計 153,600円	25,300円／月 計 303,600円
	2年次	12,800円／月 計 153,600円	25,300円／月 計 303,600円
第Ⅳ区分 (多子世帯)	初年度	9,600円／月 計 115,200円	19,000円／月 計 228,000円
	2年次	9,600円／月 計 115,200円	19,000円／月 計 228,000円

A + B = 実質学費負担額

区分	年次	学費負担額	
		自宅	自宅外
第Ⅰ区分 (多子世帯)	初年度	16,400円	残:433,600円
	2年次	16,400円	残:433,600円
第Ⅱ区分 (多子世帯)	初年度	168,800円	残:131,200円
	2年次	168,800円	残:131,200円
第Ⅲ区分 (多子世帯)	初年度	322,400円	172,400円
	2年次	322,400円	172,400円
第Ⅳ区分 (多子世帯)	初年度	360,800円	248,000円
	2年次	360,800円	248,000円

注) Aの「多子世帯」を受けるためにはBの「第Ⅰ～Ⅳ区分」に該当しない多子世帯の方も日本学生支援機構への申し込みが必要です。

大学等採用候補者決定通知について[補足]

高校で予約申込をした方は審査結果が秋から冬にかけて高校等を通じて届きます。

※令和7年4月入学生のサンプルです。令和8年4月入学生の場合には形式／色が変わる場合があります。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和7年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和6年10月15日

登録番号 99999901-100-00999

学年等 3年 10組

出席番号 A000001

氏名 学校用 見本 (カヅヨシ ミナ)

★ 99999901 #5999999

交付書類コード = F

※ コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金	貸与奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
	希望する	併用貸与・第一種奨学金・第二種奨学金の審査を希望する	希望する
選考結果	給付奨学金 (有利)	貸与奨学金	
	候補者決定 支援区分: 第1区分	ア〜ウのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます ア: 併用貸与 (有利) イ: 第一種奨学金 ウ: 第二種奨学金	
要件確認		候補者決定	候補者決定
国籍・在留資格等	○	○	○
家計に関する基準	○	○	○
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○
マイナンバー関係書類の提出	○	○	○
その他必要書類の提出	○	○	○

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
 ※2 「○」は各要件・書類等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備未届出や未提出等の理由による判定不可を含む)。「―」は申込時に希望していないため未判定であることを表します。
 ※3 「その他必要書類の提出」の「その他必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「運転(所有)証明書」等収入等に関する証明書類等又は国籍・在留資格に関する証明書類(該当者のみ)等です。
 ※4 給付奨学金の選考結果欄に【多子世帯】の表示がある場合、第1・第2区分の給付奨学金利用候補者又は給付奨学金不採用者のいずれにおいても、令和7年度から実施する多子世帯としての支援を受けられる可能性があります。詳細は「給付奨学生採用候補者のしおり」22ページ。又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」31ページをご参照ください。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金 (有利)	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
申込時の選択内容	支援区分: 第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	併用貸与の利用可 最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	月額120,000円 所得連動返還方式 機関保証	日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込: 不要 一時金500,000円 定額返還方式 人的保証
返還方式			利率見直し方式	利率見直し方式

注1 給付奨学金は、国・地方公共団体から一定の要件を満たすことの確認を受けた学校(確認大学等)に入学しなければ採用されません。さらに、利用条件に「(私立理工系)」と記載のある人は、確認大学等のうち私立理工系系の分野として国・地方公共団体から確認を受けた学科等に入学しなければ採用されません。給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記述の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者(国・公立・私立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年度10月に見直しされます。
 注2 給付奨学金の支援区分に◆印がある人で、生活保護受給の自宅から通学する場合、又は、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する場合の給付奨学金の月額は、月額表「給付奨学金採用候補者のしおり」参照)に記載の()内の金額になります。
 注3 給付奨学金の支援区分が第1区分の人のうち、「(多子世帯)」と記載のある人は多子世帯として支援を受けることができます。また、「(私立理工系)」と記載のある人は、私立理工系の理工系系の学科に入学した場合に理工系系として支援を受けることができます。
 注4 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます。「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制約が発生することがあります。
 注5 第一種奨学金の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者(国・公立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる金額(貸与奨学生採用候補者のしおり)参照)の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用: 不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません(「最高月額」以外の月額)からの選択となります。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額は制限されます。
 注6 海外大学進学者は「機関保証制度」「人的保証制度」への両方の加入が必要です。

(注意事項)
 ① 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
 ② 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
 ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」33ページに従って手続きを行ってください。

当通知は数枚つづりとなっておりますが、「提出用」の用紙を、入学後に提出いただきます。

※当書類を提出しなければ、奨学金利用のキャンセルになります。

「国の教育ローン」の申し込み可否を確認下さい。
 「必要」の場合には、国の教育ローンにお申し込みいただいた上でなければ、当奨学金を利用することができません。
 なお、国の教育ローンを利用できる場合には、当奨学金を利用することができません。

入学時特別増額貸与奨学金は第一種または第二種の申込が必要です。

予約申込をしたとしても、必ず採用されるわけではありません。
 当書類で支援区分を必ず確認して下さい。

貸与月額・返還方法は入学後に申請により変更が可能です。

進学届(入学時)に変更が可能です。[機関保証⇔人的保証]
 進学届入力後(在学時)は[人的保証⇔機関保証]のみ変更が可能です。ただし、貸与開始月に遡って保証料の支払いが必要です。

【補足】

- 給付型奨学金対象者の方でも第二種奨学金[貸与型]が利用可能です。
- 高校を卒業後2年間まで、給付型奨学金に申し込むことが可能です。
- 給付型奨学金対象者は、収入／所得の見直しから適用区分が変わる場合があります。
- 給付型奨学金対象者は、在学中の成績により対象から外される場合があります。

※「自宅外通学の取り扱いについて」詳しくは日本学生支援機構HPをご覧ください。
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/zitakugai.html>



自宅外通学の
取り扱いについて

日本学生支援機構奨学金 奨学金相談センター

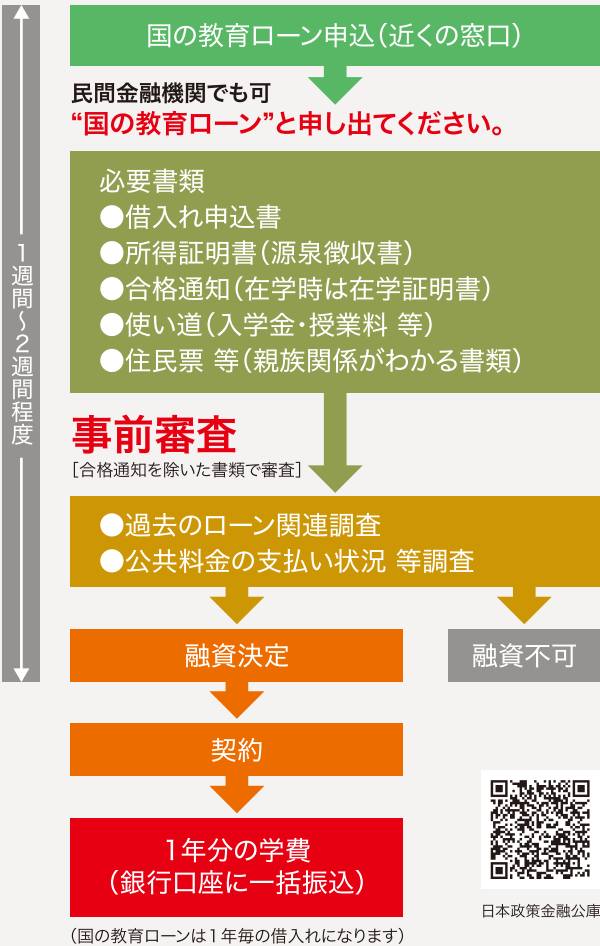
0570-666-301 (ナビダイヤル)

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話からは 03-6743-6100
 月曜～金曜: 9時00分～20時00分(土日祝日・年末年始を除く)
 (奨学金に関する来訪による相談は受け付けておりません)

国の教育ローン

教育ローンは希望の学校／学科に合格することで入学前に借入れが可能です。

申込から審査終了・借入れまでの流れ



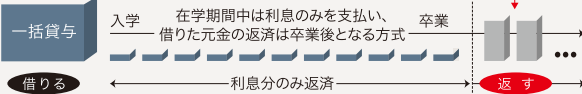
- 事前審査が可能です。
- 元金据え置き返済が可能です。
(※在学期間中は利息のみ支払い。据置期間も返済期間に含まれます)
- 元利均等返済[月々の返済額が同じ]
- 融資限度額/上限350万円
- 金利/2.65%(2025年3月時点)
※交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円(所得132万円)以内の方または子ども3人以上 ※の世帯かつ世帯年収500万円(所得356万円)以内の方の金利は2.25%(固定金利)

国の教育ローン「日本政策金融公庫」の形

- 教育ローンはまとめて借りて、
翌月または翌々月から返済がはじまります



- ▶「元金据え置き返済」をご存知ですか?
元金の返済を卒業してからにできます。



ここがポイント

- 一般のローンと比較して金利が非常に低い
(年利2.65%程度(固定金利)※2025年3月現在)
- 最大融資額は350万円
(一定要件に該当する場合は450万円以内)
- 返済期間が最長18年以内!
- 保護者が借りて保護者が返済

ここが重要!

学校提携教育ローン ●本校が提携している教育ローンです。

項 目	オリентコーポレーション	ジャックス
利用いただける方	北海道情報専門学校に入学される方の保護者	
使 い み ち	入学金、学費、教材費などの学校納付金	
利 用 限 度 額	10万円以上500万円以下	3万円以上500万円以下
返 済 方 法	1. 返済期間 ボーナス月の増額納付も可能 2. ステップアップ返済 在学中は元金措置、分納手数料のみ納付 3. 親子リレー返済 卒業後はお子さまが分納を引き継ぐ方式	1. 元金均等分割払い 2. 元金措置払い 在学期間プラス卒業後6ヶ月は元金措置、 分納手数料のみ納付 3. ボーナス併用払い ボーナス月の増額納付も可能
返 済 手 数 料 率	実質年率4.0%(2025年3月現在)	実質年率3.8%(2025年3月現在)
元 金 返 済 措 置 期 間 (利息の支払いは必要です)	在学期間以内 (措置期間は借入期間に含まれます。)	在学期間プラス卒業後6ヶ月間 (措置期間は借入期間に含まれます。)
問 い 合 わ せ 先	株式会社オリентコーポレーション 学費サポートデスク ☎0120-517-325 ※問い合わせの際は、必ず「北海道情報専門学校へ 入学を予定している」とお伝えください。	株式会社ジャックス コンシューマデスク ☎0120-338-817 ※問い合わせの際は、必ず「北海道情報専門学校へ 入学を予定している」とお伝えください。

本校での学びが安心の理由

業界が安心

ICT業界は、将来性が抜群

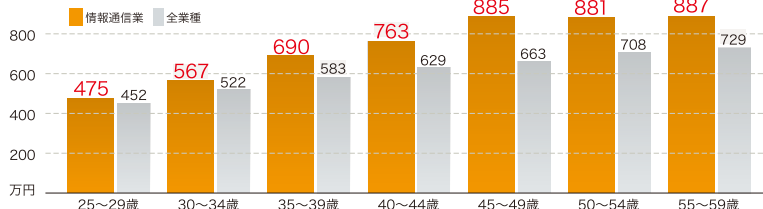
社会をより快適で便利なものに変えるICT業界は、急速な技術進化とデジタル社会の浸透により、持続的な成長を遂げています。この成長に伴い、業界では人材確保のため給与や待遇の充実にも力を入れており、働く環境の質を高めています。

高収入が期待できる！

情報通信業の平均年収は、生涯を通して全職種平均より高く推移しています。不況にも強く、安心して働ける業界です。特に技術職(専門職)は、学歴に関係なくキャリアアップによって、より多くの収入が期待できます。



■全国年代別平均年収比較 ※2023年賃金構造基本統計調査総務省 統計局調べ



生涯年収も高い!
情報通信業 約2億9千万円
全業種と比較しても
5千万円近い差があります

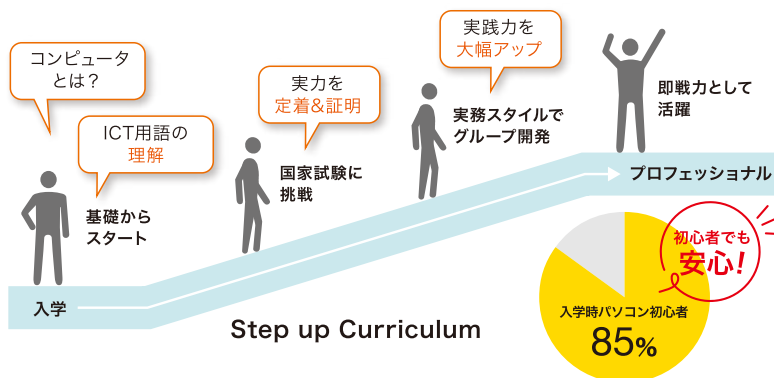
学びが安心

実践的ステップアップカリキュラム

学んでいるうちに自然と即戦力エンジニアに！

57年に及ぶ技術者養成のノウハウを活かし、どんな科目を学ぶか、どんな順番で学ぶか、どんな組合せで学ぶかを学校が考え、体系的なカリキュラムを組み立てています。ゼロスタートからプロフェッショナルになれる秘密はそこにあります。

誰でも理解できる授業で効率的に
現場が求める先端技術を得得



学びが安心

クラス担任制でフォローも万全

もし壁にぶつかったり戸惑うことがあっても大丈夫。

クラス担任が学生一人ひとりを見守り、理解度や進捗速度に応じて、個別でとことん寄り添います。また、各科目を担当する先生全員が専任講師。常に学校にいるので、質問し放題。プライベートなことから学習面まで気軽に相談できます。



毎日顔を合わせるから
あなたの性格も把握。
勉強でもプライベートでも
何でも相談してね!

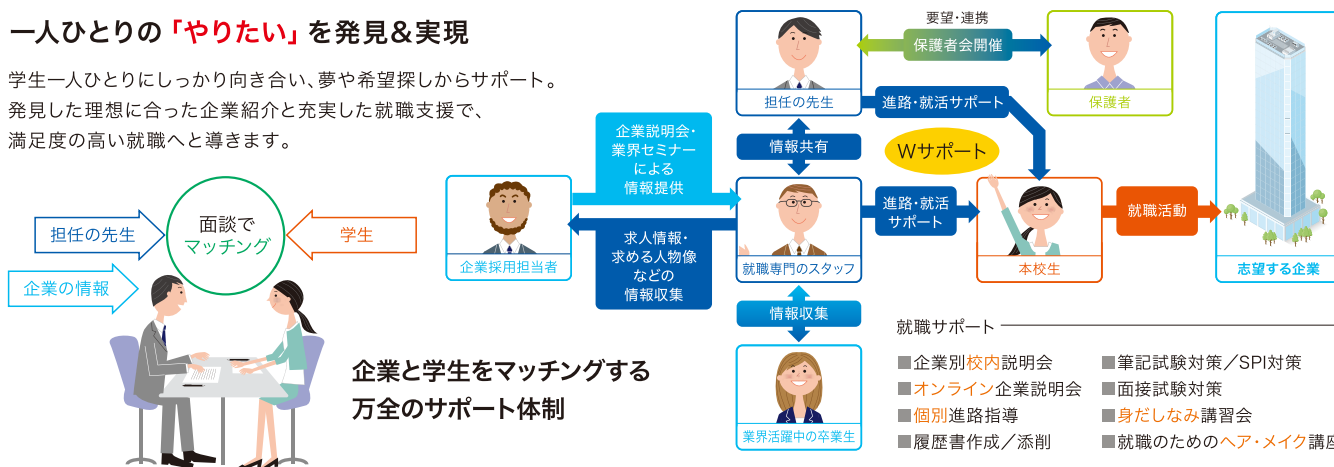
入学生の半分は札幌以外の出身者。
クラス制だから仲間もつくりやすい!
一人暮らしの悩みも解決だ!

就職が安心

体系的な就職サポート

一人ひとりの「やりたい」を発見&実現

学生一人ひとりにしっかり向き合い、夢や希望探しからサポート。発見した理想に合った企業紹介と充実した就職支援で、満足度の高い就職へと導きます。



本校独自の学費支援制度

特待生試験
[特典A]採用で **最大 1,166,000円 負担減!**

特待生試験第1期～第2期試験を受験できるのは

AO入学出願許可者だけ!!

※他の入学金免除制度との重複採用はありません。

特待生試験 [選抜制]

対 象 者	第1期	AO入学出願許可者(同日受験のみAOエントリー者も可)			
	第2期	AO入学出願許可者(同日受験のみAOエントリー者も可)			
	第3期	指定校推薦入学出願者または公募推薦入学出願者			
	第4期	第1期～第3期の特待生試験を受験していない出願者			
区分／特典	特典A	初年度学費 全額免除 および入学金 全額免除			
	特典B	入学金 全額免除			
採用人数	特典A：3名(第1期～第3期：各1名)／特典B：40名(第1期～第4期合計)				
試験日程 ※実施会場は、 本校ホームページにて 公表および 申込者に案内します。	区分	試験日	開始時間	開催都市	採用特典
	第1期	2025年 8 月 2 日(土)	10時00分	函館・北見・釧路	特待生A
		2025年 8 月 3 日(日)	10時00分	札幌・旭川・帯広	特待生B
	第2期	2025年 9 月27日(土)	10時00分	函館・北見・釧路	特待生A
		2025年 9 月28日(日)	10時00分	札幌・旭川・帯広	特待生B
	第3期	2025年11月15日(土)	10時00分	函館・北見・釧路	特待生A
		2025年11月16日(日)	10時00分	札幌・旭川・帯広	特待生B
	第4期	2026年 2 月23日(月祝)	10時00分	札幌	特待生B
試験内容	適性試験および面接				

同窓子弟奨学生 [対象者全員]

特典 入学金**全額免除** [100,000円]

父母、兄弟姉妹、祖父祖母が、本学園(本校を含む全国10校の姉妹校及び北海道情報大学)の同窓生(卒業生または在校生)である者

既卒者入学支援特典 [対象者全員]

特典 入学金**全額免除** [100,000円]

2025年3月以前に高等学校を卒業している者(高等学校卒業程度認定試験合格者を含む)で、下記のいずれかを満たす者

- ①大学・大学院・短大・専門学校卒業者(卒業見込み者を含む)
- ②大学・大学院・短大・専門学校中途退学者(在学中の者を含む)
- ③6ヶ月以上の継続した勤務経験がある者

国家試験合格者特典 [対象者全員]

特典 入学金**全額免除** [100,000円]

情報処理技術者試験合格者(種別は問いません)

公務員受験者特典 [対象者全員]

特典 入学金**全額免除** [100,000円]

2025年度公務員試験一次試験合格者

北海道留学特典 [対象者全員]

特典 入学金**全額免除** [100,000円]

北海道外の高校に在籍し、2025年3月高校卒業見込みの者(北海道外に在住であること)

※詳しくは「2026年4月入学生用 入学志願要項」でご確認下さい。

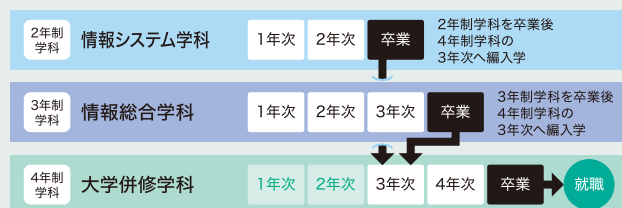
2026年4月 学科・専攻をリニューアル! ※詳しくはお問い合わせください!

4年制	大学併修学科	ICTエンジニア専攻	自由選択プログラム	数理・データサイエンス・AIプログラム
			自由選択プログラム	教職課程プログラム
3年制	情報総合学科	システムエンジニア専攻	AIエンジニア・システムエンジニアコース	
			DXビジネスデザイナー・Webエンジニアコース	
		クラウドエンジニア専攻	セキュリティエンジニアコース	
		ゲームクリエイタ専攻	ゲームエンジニア・ゲームプランナーコース	
2年制	情報システム学科	ICTプロフェッショナル専攻	自由選択プログラム	ソフトウェア開発プログラム
			自由選択プログラム	DX推進人材育成プログラム

学びのプランは入学後でも変更可能 編入学・進級制度

学びを極める) 編入学 (4年制学科●大学併修学科へ)

2年制学科または、3年制学科で技術を学んで卒業後、**大学併修学科の3年次**に**編入学**し4年間(3年制学科からの編入は5年間)で実践力と学歴を得る!



※編入学時には単位認定により62単位が認められ、残り62単位を2年間で取得

学びを深める) 進級 3年制学科●情報総合学科へ

2年制学科で技術を学んで、**情報総合学科の2年次**に**進級**し3年間でさらに高度な実践力を得る!

